



2024.5.10

No. 364

毎月5日発行 定価1部10円 (組合員の購読料は組合費に含む)
1996年3月4日第三種郵便物認可

MONTHLY

れんごう

北海道

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者

和田英浩

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

第95回全道メーデー大会開催

連帯の力で平和と人権を守り 誰もが安心して暮らせる新たなステージへ!
被災地の復旧・復興に向けて みんなで支え合い・助け合おう!



前夜からの雨が上がり風は冷たいながらも晴れ渡った5月1日、第95回全道メーデーが札幌大通公園8丁目広場にて開催され、150団体約3,000人が結集した(道内各地のメーデーには、114地域で約30,000人が参加)。FMカンパニーによるオープニングソングの後、仮装コンクールの審査発表やお楽しみ抽選会が行われた。



挨拶するメーデー大会長の須間等連合北海道会長

10時からの式典では、メーデー大会長の須間等連合北海道会長が「メーデーは、今から138年前の1886年5月1日に米国の労働者が1日8時間労働を求めてゼネストに立ち上がったことを起源としている。『8時間は労働、8時間は休息、そして残りの8時間は自分たちの自由な時間のため』と。日本においても1920年に第1回メーデーが

開催され、今年95回目のメーデーを迎えた。メーデーは労働者の祭典であり、労働者が団結することの大切さを確認する日でもある。社会の様々な不条理には団結して立ち向かい、すべての働く仲間の処遇改善と格差是正をめざして、『団結』と『連帯』の絆を強め、力強く行動しよう」と挨拶した。

来賓の三橋剛北海道副知事、秋元克広札幌市長、連合北海道国会議員団会議会長の徳永エリ参議院議員から順次ご挨拶を頂いた。その後メーデースローガンを中野由郁代表委員が、「第95回全道メーデー宣言(案)」は和田英浩事務局長が読み上げ、「平和と軍縮運動を推進する特別決議(案)」は河原崎育子代表委員が提案し、参加者からの拍手をもって採択・決議された。

式典終了直後に立憲民主党の泉健太代表が会場に駆け付け、パレードに出発する参加者に向けて連帯の挨拶があった。その後、参加者は3グループに分かれ、シュプレヒコールを上げながら札幌市内中心部をパレード行進した。



三橋剛北海道副知事



秋元克広札幌市長



徳永エリ参議(国会議員団会長)



中野由郁委員によるスローガン採択



北海道労金労組の力作



FMカンパニーのオープニング



駆け付けた泉健太立憲民主党代表



色とりどりの産別旗とともに



札幌市内中心部をパレード

全道各地の メーデー



釧路



北見



小樽

大築くれは衆議と川澄道議と青年委員会



室蘭

挨拶をする日西会長



ユニオニオンもこどもに大人気



留萌

留萌地域メーデー パレード



色内埠頭から400名でパレード

第95回全道メーデー宣言

石川県能登半島での大地震発生から4ヶ月となる本日、第95回全道メーデー大会を開催した。改めて、亡くなられた方々に謹んで哀悼の誠を捧げるとともに、被災された方々、いまだ避難生活を続けておられる方々に、心からお見舞いを申し上げる。そして、一日も早く平穏な日々を取り戻せるよう心から願う。

私たちは、これまで、これからも連合北海道に結集するすべての組織が「支え合い・助け合い」の心をついに、被災地・被災者に寄り添った支援活動に取り組んでいく。

世界は「分断と対立」の道を突き進んでいる。未だ終結の見えないロシアによるウクライナ侵略や度重なる北朝鮮によるミサイル発射など、平和と秩序を武力で破壊する暴挙を決して許してはならない。さらに、ミャンマー軍事政権による市民への弾圧、パレスチナ自治区ガザにおける人道危機の深刻化など、人類普遍の価値たる人権が脅かされている。連合北海道は、世界の働く仲間との国際連帯を強め、世界平和の実現と自由で民主的な社会の構築に向けて行動していく。

2024春季生活闘争は、労使の真摯な交渉の積み重ねにより、これまで多くの組合で昨年を上回る賃上げを獲

得している。デフレマインドを完全に払しょくし、新たな経済社会へ移行する正念場において、私たちは大きな一歩を踏み出した。私たちには職場を、そして社会を変える力がある。未来づくりへの社会的責任を自覚し、先行組合の勢いを後続の中小組合や組合のない職場へと波及させ、すべての働く仲間の生活向上につなげていこう。

そして、日本の持続可能性に関わる構造的な課題の解決も待たなしである。私たちは「働くことを軸とする安心社会 ーまもる・つなぐ・創り出すー」の実現に向けて、政策課題の改善に真正面から取り組み、ジェンダー平等の推進はもとより、さまざまな人たちとの対話と集団的労使関係を社会に広げる取り組みを進めるとともに、働く者・生活者の立場にたった政治勢力の結集・拡大をめざす。

今こそ、私たちの連帯の力で、平和と人権が尊重され、誰もが安心して暮らすことのできる社会を、そして一日も早い被災地の復旧・復興を実現しよう。

以上、ここに宣言する。

2024年5月1日
第95回全道メーデー大会

平和と軍縮運動を推進する特別決議

戦争の記憶が風化している。歴史修正主義が台頭し、「新しい戦前」との言葉が飛び交い始めた。

集団的自衛権を容認する憲法解釈変更が閣議決定され、安全保障関連法が成立した。安保関連3文書が閣議決定され、増税により5年間で防衛費を43兆円増額する防衛財源確保法が成立。また防衛装備移転三原則を閣議決定し、殺傷能力のある武器輸出を解禁する運用指針を国家安全保障会議で改定した。

防衛白書では、日本周辺の安全保障環境を、核・ミサイル開発を進める北朝鮮や軍備増強を試みる中国の動向をあげ、「これまでにない最大の戦略的な挑戦」「わが国と国際社会の深刻な懸念事項」とし、日本が「戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面している」として、国民の命と平和な暮らしを守り抜くためには、防衛力の抜本的強化と、防衛体制の強化を実施することが、わが国の抑止力を高めることになると記載している。

そもそも抑止政策は相互不信を前提にした威嚇政策であり、あらゆる戦争は「防衛」の掛け声で行われている。

武力で平和はつくりえない。対話による平和外交でしかつくり出すことはできない。

現在、世界においては、アフガニスタン紛争、ウクライナ紛争、イスラエル紛争など、国家が関与する武力紛争が54件に及び、命はもとより、難民、貧困、飢餓、差別など「人間としての尊厳」が蹂躪されている。紛争は「民族」「宗教」「資源」「領土」に起因する。多様性や価値観の違いを認め合い、対立や分断ではなく、お互いを尊重し、対話を重ねる事でしか解決しない。

戦争・内戦など紛争は最大の人権侵害であり、断じて許されるものではない。

労働組合の起源は18世紀のイギリスで、賃金など労働条件を求めて結成されたとされる。しかし結成に至る前には、産業革命下で過酷な労働により命や健康を失った労働者が「人間としての尊厳」を求めて「団結」した基盤がある。人としての尊厳とは「人権」だ。私たち労働組合の本質は「人権」を守ることにある。

「平和なくして労働運動なし」の原則のもと、私たちは労働組合であるからこそ平和と軍縮に向けた運動をさらに強化していく。

以上、決議する。

2024年5月1日
第95回全道メーデー大会

!!! みんなで賃上げ。↑
ステージを変えよう!

4月16日付 連合本部 第4回回答集計
中堅・中小組合の健闘が続く!

月例賃金改善(定昇維持含む)を要求した4,384組合中3,129組合が妥結済みで、うち賃金改善分を獲得した組合は2,026組合(64.7%)となった。平均賃金方式で回答を引き出した3,283組合の「定昇相当込み賃上げ計」は加重平均で15,787円・5.20%(昨年同時期比4,765円増・1.51ポイント増)、うち300人未満の中小組合2,123組合は12,170円・4.75%(同3,714円増・1.36ポイント増)となった。いずれも、第4回回答集計としては、比較可能な2013闘争以降で最も高く、「賃上げの流れ」はしっかりと引き継がれている。

「2024春季生活闘争みんなで賃上げ4.18地場中小支援緊急集会」で、北海道ブロックを代表して連合北海道

須間等会長が、「多くの中小組合でこれまでの流れを維持できるかこれからの正念場だ。処遇改善や格差是正に向けて5%以上の賃上げを目指し、組合のない組織への波及も行いたい」と述べた。

道内の妥結状況は61.8%、全体平均で12,972円・4.68%、100~299人の中小労組は12,713円・5.20%、99人以下は9,259円・3.91%となった。前年同期比で大きく上回っているものの企業規模間格差の是正には至っていない。

連合北海道は各産別・単組・地協と連携をはかり、波及効果に向けた取り組みを粘り強く求めていく。

道幸哲也先生を偲ぶ会 報告

3月24日(日)京王プラザホテル札幌において、昨年8月20日に75歳で急逝された北海道大学名誉教授の「道幸哲也先生を偲ぶ会」が開催され、全国から約240人が駆け付けました。参列者による献花の後、先生のお人柄をしのばせるご友人や教え子からのスピーチが披露されました。また、道幸先生に教えをうけた研究者たちが、道



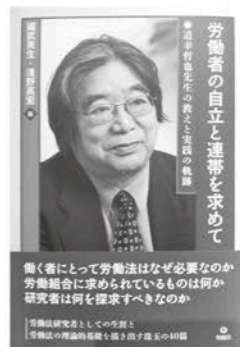
参列者による献花

幸先生のエッセイや論稿に解説をつける形式でこの日に出版された「労働者の自立と連帯を求めて」(旬報社)が、参列者に配布され

ました。

道幸哲也先生は、北大を卒業後、小樽商大を経て昭和58年からは北大で長らく教鞭をとられました。その間、北海道労働委員会公益委員・会長、北海道最低賃金審議会委員・会長をそれぞれ30年にわたって務められ、「不当労働行為」研究の第一人者でした。最近、「労働者自身が学び、連帯しなければ世の中は好転しない」という思いのもと、ワークルール教育推進に邁進され、ワークルール検定の立ち上げに多大なるご尽力をいただきました。

いつも労働組合に深い愛情をもって叱咤激励をいただき、本当にありがとうございました。



労働者の自立と連帯を求めて【旬報社】



5月の主な動き

- 5月 1日(水) 9:30 第95回全道メーデー／札幌 大通公園8丁目広場
- 5月10日(金) 10:00 第3回男女平等参画推進委員会／連合北海道会議室
- 13:00 金属・機械部門 2024年政策研修会／ライフポート札幌
- 5月11日(土) 13:00 高校生平和大使 署名活動／札幌 大通西3丁目
- 5月14日(火) 13:30 高校生平和大使派遣実行委員会／連合北海道会議室
- 13:30 連合労働相談事前学習会／Zoom
- 5月16日(木) 13:30 連合第8回中央執行委員会／連合会館
- 18:30 判例研究会／かでの2・7
- 5月22日(水) 15:00 第27回全道セーフティネットワーク集会／アスティ45
- 5月23日(木) 10:00 第8回執行委員会／札幌ガーデンパレス
- 12:30 第2回労働福祉事業団体役員推薦委員会／札幌ガーデンパレス
- 13:00 第7回地協事務局長会議／札幌ガーデンパレス
- 5月24日(金) 10:00 第2回政策委員会／ポールスター札幌
- 13:30 連合 北海道ブロック政策担当者会議／ポールスター札幌
- 5月30日(木) 13:30 オルガナイザー研修会／ポールスター札幌

イベントカレンダー

女性のための
連合全国一斉集中
労働相談ホットライン

仕事で悩むあなたを
応援します

2024年
6月4日(火)~5日(水)
10:00~18:00

0120-154-052

両日は、しのだ奈保子弁護士(釧路)や女性弁護士も相談対応します。